

一般社団法人 日本リモートセンシング学会 特別セッション  
～次の大災害時に備えて、衛星画像の可能性～

Possibility of Satellite Data Utilization for Large-Scale Disasters

近年、岩手・宮城内陸地震、東日本大震災等の大規模地震災害が発生したことは皆様の記憶に新しいことと存じます。このような中、2016年8月下旬には3つの台風が北海道に上陸するなど、観測史上例の無い事例が発生し、それに伴う広域かつ大規模な災害が続いています。北海道・東北地方を始めとする台風災害の復旧復興はその途上にあり、今後の大規模地震の可能性と合わせて、予断を許さない状況と言えます。一方、宇宙開発分野の進歩は目覚ましく、これらの災害把握に、衛星画像が利用され、その有効性が確認され始めています。

今回企画した日本リモートセンシング学会秋季講演会の特別セッションでは、同学会国土防災リモートセンシング研究会が取り組んできた大災害時における衛星画像の活用事例を紹介すると共に、本研究会が、衛星画像を防災や国土情報整備などの実際の業務に活用することを念頭に取り組んできた成果をわかりやすくご紹介致します。また、災害時の衛星画像の活用に関して、より具体的な方策を出席者の皆様と一緒に考えようとするものです。既に衛星画像を活用されている方はもちろん、これから仕事で使ってみたい方、若い技術者の教育に活かしたい方のご参加を心からお待ちしております。

1. 日 時： 2016年11月2日（水）14:50～17:00
2. 場 所： 新潟テルサ(新潟県勤労総合福祉センター)  
(JR新潟駅南口よりバス約20分。スイカ・パスモ可)
3. 費 用： 無料
4. プログラム(司会：金井度量衡株式会社 金井利郎)  
14:50 開会  
ご挨拶(日本リモートセンシング学会国土防災リモートセンシング研究会会長：桑原祐史)
  
- 14:55 第一部 基調講演  
「衛星画像を利用した土砂災害対応の留意点と山体移動エリアの抽出評価事例」  
新潟大学 災害・復興科学研究所 特任准教授  
水野正樹 様
  
- 15:30 休 憩
  
- 15:35 第二部 国土防災分野における衛星画像の利用検討結果の紹介
  - ① 国土マネジメント・国土防災の観点からの衛星データ活用ガイドラインと InSAR の実用化に関する調査研究の紹介  
(実務利用WG：宇宙技術開発株式会社 伊東明彦)
  - ② 災害時ガイドラインの紹介(経過報告)  
(災害時ガイドラインWG：中央開発株式会社 坂本淳一)
  
- 16:10 第三部 新技術の紹介
  - ① マルチロータ UAV の最近動向  
(金井度量衡株式会社 吉田雄一)
  - ② ALOS-2 による災害状況把握事例  
(JAXA 田殿武雄、大木真人、永井裕人、石原光則)
  
1. 申し込み先(申し込み専用アドレス)：ws-rssj@ml.ibaraki.ac.jp
2. 申し込み期限：10月24日(月) (資料準備の都合がありますので、事前申し込みをお願いいたします)
3. その他：本ワークショップに参加頂きますと、測量系CPDポイントが認定されます(2ポイント)。
4. 主 催：(一社)日本リモートセンシング学会(担当：国土防災リモートセンシング研究会)  
後 援：地盤工学会 北陸支部、土木学会 関東支部、応用地質学会 北陸支部  
国立大学法人 茨城大学 広域水圏環境科学教育研究センター